



夢実現・挑戦

津奈木中学校学校だより

令和8年9月28日

第9号

文責：校長 内場

地域という「生きた教材」で学ぶ秋 — 未来を切り拓く力を育む —

朝夕の心地よい風に秋の深まりを感じる季節となりました。2学期が始動し、校内では各学年の総合的な学習の時間（津南学習）において、津奈木町全体を舞台とした「地域展開学習」が本格的にスタートしています。

生徒たちが教室を飛び出し、地域の方々、事業者、行政と直接関わるこの学びには、単なる知識の習得にとどまらない大きな意味があります。本物に触れ、地域課題や働く人の思いに直接出会うことで、自らの生き方や将来の姿を思い描く「キャリア発達」へとつながっていくからです。各学年がそれぞれの段階に応じたテーマで、確かな学びを深めています。

耕作放棄地から伝える「土地の恵み」と「伝統の味」

1年生は、地域の課題である「耕作放棄地」を活用して大根を栽培し、地元の伝統食「寒漬け」をつくって販売する活動に取り組めます。

種まきから栽培、加工、販売、発表まで取り組む中で、地域の農業の現状を知り、先人の知恵や食文化の継承に触れていきます。一連の体験を通じて、「津奈木町の食文化」や「農業と地域の未来」など、自分の探究課題をもとに、学びを深めていく予定です。



働く価値と自分の可能性を探る「職場体験」

2年生は、芦北水俣の様々な事業所や店舗のご協力のもと「職場体験」を行いました。挨拶やマナーといった社会のルールを身につけるとともに、現場で生き生きと働く大人の姿やプロ意識に触れる貴重な機会となりました。

学習を終えた生徒たちからは、「働くことの大変さ」だけでなく「周囲への気遣いの大切さ」や「相手意識」など、多くの気づきや学びの声が聞かれました。将来の職業観や自己の生き方を見つめ直す、キャリア形成の確かな第一歩となっています。



まちづくりに参画し、未来をひらく「こども議会」

3年生は、津奈木町の未来を創る「こども議会」に向けた探究学習を進めています。議会傍聴や役場各課への取材を通してまちの現状と課題を深掘りしているところです。

今後はこれらの取材をもとに、中学生の視点で津奈木町を良くする提案づくりに挑みます。地域課題に向き合う中で、次代を担う「社会の参画者」としての自覚と成長を大いに期待しています。



10月の

行事予定



15日（木）郡市中体連駅伝競走大会（エコパーク）

女子9：30スタート 男子10：40スタート

25日（日）津奈木中学校文化祭

午前開催（弁当なし）13：00完全下校予定

26日（月）振替休業日